

平成 29 年度「土岐津の森」土岐津中学校による活動報告

土岐津中学校の 1 年生 75 名が、学校の裏山である「土岐津の森」において、樹林の働き、樹林整備の意義や現在の森のようすを学ぶための学習、土砂災害に強い樹林を目指した樹林整備活動に取り組みました。

この活動は、多治見砂防国道事務所、土岐市ほか、多くのボランティアの支援のもと実施されました。

○学習会 10 月 13 日

室内講義「防災のはなし」「森林のはなし」

野外学習「土砂流出実験」「砂防ダム実験」「降雨体験」

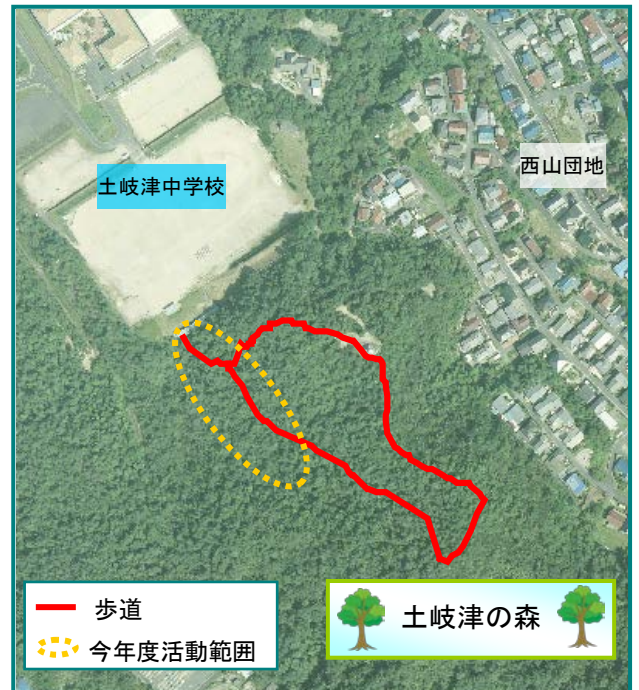
○観察会 11 月 10 日

野外学習「土岐津の森を知ろう、森にふれよう」

「森の土と木の観察」「ノコギリ体験」

○樹林整備活動 11 月 24 日

野外学習「常緑低木や成長の悪い木の伐採（間引き）」



10 / 14 学習会

室内講義と実験・体験の 2 部構成で行いました。室内講義では「防災のはなし」と「森林のはなし」を多治見砂防事務所から説明しました。実験・体験では模型等を使って、土砂災害の特徴や砂防の役割を説明しました。



「木」のこんなこと知ってた？

クイズ その5

葉っぱの面積、どっちが多い？

① 広葉樹 ② 針葉樹



講義「防災のはなし」

はげ山が広がっていた昔の写真を見ながら、森林の荒廃と土砂災害の関係、砂防事業の必要性を学びました。

講義「森林のはなし」

木の特徴や森林と人の関わりについて、クイズ形式で学びました。



土砂流出実験～土砂災害と森の働き
木の生えている山は雨が降り続けても崩れにくいことを学びました。



土石流模型実験～砂防堰堤の働き
砂防堰堤の模型を使って、土石流災害を防止する効果を学びました。



降雨体験～雨の強さを知る
降雨体験車に入って、集中豪雨並みの強い雨を体験しました。

11/10 観察会

ほとんどの生徒にとって、森に入る経験は初めてでした。「森を知る、森にふれる」を目的として、森の様子や先輩が整備した歩道を歩きながら観察し、その後グループにわかれて森の土や木の観察を行い、木を切る練習をしました。



森の周回

先輩たちが整備した森を観察しながら、歩道を1周歩きました。天気も晴天に恵まれ、眺望地点からは御岳山も見えました。



森の木の観察

岐阜大学生が観察リーダーとなって、木の幹や葉を観察し、名前あてクイズなどをしました。

森の土の観察

スコップを使い穴を掘って、腐植層の厚さを測りました。予想以上に厚さがなかったことを知ることができました。



玉切り体験

ノコギリを使って、玉切りの練習をしました。初めての経験でしたが、みんな上手に切ることができました。



11/24 樹林整備活動

「土砂災害に強く、緑豊かな樹林づくり」を目的として、混み合って生育する樹林を明るくするため、常緑樹を間引き、日のあたる明るい場所を好む広葉樹が生育できる環境に整備しました。生徒たちには立っている木を切るのは初めての体験でしたが、普段の授業で習うことのない貴重な経験となりました。



切る木の選定

明るい環境を好む広葉樹が生育できる条件となるように、伐採する木を選びました。



玉切り作業

伐採した木は枝を落とし、小さく整理しました。生徒たちが作業した区画の林床は、整備前よりも明るくなりました。

伐採

土岐市役所職員や岐阜大学生にも支援をいただき、道具の使い方なども教わりながら、立木を伐採しました。



閉講式

最後に、これまでの活動をふりかえり、森の環境を良くするために人の力が必要なことを学び、今年の樹林整備活動を終えました。



「土岐川流域グリーンベルト整備事業」は、多治見市・土岐市の市街地に隣接する山麓斜面を一連の緑地帯（グリーンベルト）として、保全・創出することにより、土砂災害を防止し、自然環境・景観を保全することを目的としています。

作成者・お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局

多治見砂防国道事務所

〒507-0023 岐阜県多治見市小田町4-8-6

TEL : (0572) 25-8020

<http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>